

大学生における Instagram の利用と承認欲求との関連の検討  
——養育者の養育態度と自己概念の明確性に着目して——

C122047 山口 ななこ

本研究は、大学生における Instagram の利用と承認欲求との関連を検討し、さらに承認欲求の形成・強化に関与する心理的要因として、養育者の養育態度と自己概念の明確性に着目した。承認欲求は、賞賛獲得欲求と拒否回避欲求の二側面から捉え、Instagram の利用者群、閲覧のみ群、非利用者群での比較を行った。その結果、投稿を行う利用者は賞賛獲得欲求が有意に高いことが示された。一方、拒否回避欲求については利用形態による有意差はみられなかった。さらに、養育態度と承認欲求との関連を検討した結果、過保護的な養育態度認知は拒否回避欲求と正の相関を示した。自己概念の明確性は承認欲求の両因子と負の相関を示した。重回帰分析および共分散構造分析の結果、養育態度よりも自己概念の明確性の方がより承認欲求に影響を及ぼし、養育態度が自己概念の明確性を媒介して承認欲求に影響を及ぼす可能性が示唆された。今後は、性別比較や他 SNS との比較、父母別の養育態度、具体的利用行動指標、大学生以外の層への一般化を考慮した検討が課題となる。

加害者が明確な性犯罪における被害者・加害者に対する第三者の態度

——公正感受性との関連——

C122056 福元 夏希

本研究では、性犯罪被害者の矮小化や被害者非難が生じる背景を踏まえ、不同意性交罪と強盗罪に対する第三者の量刑判断、被害者非難、被害者共感、加害者への怒り、加害者共感が、犯罪の種類（不同意性交・強盗）、加害者 - 被害者の関係性、回答者の性別、および公正感受性（Justice Sensitivity: 被害者 JS・第三者 JS）によってどのように異なるかを検討した。大学生 123 名に 4 つのシナリオを提示して各尺度に回答を求め、3 要因混合分散分析と、犯罪別に公正感受性を独立変数とする重回帰分析を行った。量刑判断は不同意性交が強盗より重く、被害者非難は初対面×不同意性交の条件で男性が女性より高く、さらに被害者共感は女性においてのみ不同意性交で高いことを示した。第三者 JS が両犯罪場面で被害者非難/共感・加害者への怒り/共感に一貫して正の影響を示し、被害者 JS は概ね有意ではない一方、強盗罪の量刑判断に限り負の影響を示すことを明らかにした。性犯罪の被害者評価は文脈と性別の組み合わせで顕在化し、第三者 JS は不公正への関与を高める特性と示唆された。

「ありがとう」と同時に湧き上がる「申し訳なさ」  
——謝罪的感謝表現の心理的背景と自尊感情との関連——

C122057 片岡 里佳

本研究の目的は、対人場面での謝罪的感謝表現を選択する際に抱く感情、特にネガティブな感情の存在と、それが自尊感情とどのように関連するのかを明らかにすることである。これにより、感謝表現における心理的背景を検討した。仮説として、謝罪的感謝表現を選択する人は、相手には申し訳なさ、自身には罪悪感を抱き、自尊感情が低い傾向があると想定した。大学生 35 名を対象として、質問紙調査を行った。参加者は、複数の対人場面が提示され、会話の空欄を自由記述で回答し、最後に自尊感情尺度に回答した。分析の結果、謝罪的感謝表現は相手・自分に対する項目、自尊感情尺度とも相関はみられなかった。また、感謝のみの時には、自分に「安心感」を感じやすく、謝罪のみの時には、相手に「感謝」を感じにくく、「尊敬」を感じやすかった。本研究は、感謝や謝罪の表現が場面やそのときの感情に基づく可能性を示し、対人コミュニケーションや自己理解などに貢献できる。